

熊野古道小辺路を往く

古川 真人

春に熊野古道小辺路（高野山～熊野本宮大社）を踏破しました。
悠久の歴史をしのぶ4泊5日の古道散策でしたが、山中に山小屋が無いため山間の集落まで行かなければならない複数の峠越えの山道、急登では息を切らし…、急な下りでは滑ることも…。

そんな中での一人旅、景色を楽しみながら…、独り言を発しながら…、鳥のさえずりを後に…、ひたすら熊野本宮大社を目指しました。

少々疲れましたが、目的地に近づくとつれ周りの変化を感じると速足になり、待望の鳥居の前に立った時の感動は忘れられません。

約80kmの道程、“圏外”で緊急時の対応に不安を感じたこと、山水で汗を洗い流しまたのどを潤したこと、鳥・花に励まされたこと、など記憶に残る古道散策でした。

なお、平日だったこともあり道中会ったのは、日本人・ロシア人・ドイツ人の計3人のみ（日本人とドイツ人は女性）。

ドイツ女性は熊野古道を本国に紹介するための調査として再来日したとのことでした。



(1) 高野山（熊野古道小辺地始点）



(2) 道中の厳しさを予感



(3) 不安が頭を過る



(4) 足がすくむも前進あるのみ



(5) 伯母子岳山頂 (1,344m)



(6) 一部崩落足元注意



(7) 思わず足を止め癒されるひととき



(8) 目指すは彼方の熊野本宮大社



(9) 到着



(10) 本殿